

武雄市公共施設等個別施設計画 (スポーツ施設編)

2019年4月

武雄市

目 次

1	趣旨	1
2	対象施設	1
3	計画期間	2
4	施設の状態について	2
5	対策の優先順位の考え方	4
6	施設の評価及び方向性について	4
7	スポーツ施設の評価	6
	(1) 体育館	7
	(2) 野球場	8
	(3) 運動場	9
	(4) テニスコート	10
	(5) プール	11
	(6) 弓道場	12
	(7) 相撲場	13
	(8) ゲートボール場	14
	(9) キャンプ場	15
8	スポーツ施設の方向性について（対策内容と実施時期）	16
9	対策費用	19
10	武雄市スポーツ施設検討市民会議	19
11	計画のフォローアップについて	20

1 趣旨

本計画は、武雄市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定。以下「総合管理計画」という。）に基づき、武雄市のスポーツ施設について、将来の方向性等を明らかにするため策定するものである。

2 対象施設

施設名	構造	面積（㎡）		設置年	耐用年数
		建物	その他		
白岩体育館	R C 造	3,102		1975	47
山内中央公園スポーツセンター	R C 造	1,428		1979	47
北方スポーツセンター	R C 造	1,396		1978	47
北方西体育館	R C 造	654		1964	47
北方東体育館	R C 造	629		1986	47
山内中央公園武道館	S 造	749		1995	34
白岩球場			18,900	1976	30
サンスポーツランド北方 多目的運動広場			13,211	1990	30
北方グラウンド			7,902	1975	30
白岩競技場			23,300	1976	30
山内中央公園グラウンド			17,832	1970	30
北方運動公園運動場			11,488	1977	30
白岩運動広場			12,000	1999	30
北方東運動場			9,580	1986	30
天神崎公園テニスコート			5,000	1998	10
山内中央公園テニスコート			3,206	1992	10
山内中央公園軟式テニスコート			1,205	1970	30
北方運動公園テニスコート			4,147	1975	30
山内中央公園プール			4,386	1974	30
北方運動公園プール			3,928	1984	30
北方東プール			470	1964	30
白岩弓道場	S 造	211		1999	34
山内中央公園弓道場	S 造	135		2001	34

白岩相撲場	S 造 (建物部)	100	1,370	1980	30
北方運動公園相撲場	木造 (建物部)	100	400	1977	15
白岩ゲートボール場			2,000	2000	30
白岩軽運動場			1,500	1999	30
山内多目的スポーツ広場			9,953	2002	30
サンスポーツランド北方 ゲートボール場			700	1990	30
眉山キャンプ場				1989	30
神六山公園ふれあい広場キャンプ場				1982	30
乳待坊公園いこいの広場キャンプ場				1989	30
32 施設					

※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造

3 計画期間

この計画の期間は、総合管理計画と同じ平成38年度（2026年度）までとする。

平成33年度（2021年度）までを前期、平成34年度から平成38年度（2026年度）までを後期とし、平成33年度（2021年度）にこの計画の見直しを行うものとする。

4 施設の状態について

施設の状態については、次の点検・診断によって確認した。今後の方針により利用することとなる施設で、点検・診断が未実施の施設については、点検・診断を実施する。

（点検・診断の方法）

- ・ 建築基準法 12 条定期報告資料 → 躯体以外の部位の劣化状況の把握
- ・ 耐震診断資料 → 構造躯体の健全性の把握
- ・ 修繕履歴資料 → 過去に行われた修繕履歴により部位別の劣化状況の把握
- ・ その他既成資料 → 目視調査等自主的に行われた調査結果により現状を把握

耐震診断が行われておらず耐震性能を有していない可能性がある施設や、バリアフリー対策が十分でない施設も多くある。各施設の状態は次のとおりである。

■各施設の状態

施設名	施設の状態
白岩体育館	事務室など雨漏りが常態化しており、外壁、内壁にはクラック多数発生している。
山内中央公園スポーツセンター	老朽化が進んでおり、競技面床の落ち込みがみられる。
北方スポーツセンター	老朽化に伴い、雨漏りが多く発生しており、抜本的な改修が必要である。
北方西体育館	老朽化著しく、雨漏り、床板の剥離が生じている。
北方東体育館	施設正面の壁面に劣化腐食が見受けられる。
山内中央公園武道館	現在のところ安全面などに問題はない。
白岩球場	スタンドについては、コンクリート壁に剥がれ、観客席に割れが多数ある。
サンスポーツランド北方多目的運動広場	フィールドは未改修のため劣化、固形化がみられる。またバックスクリーン、スコアボードについても防錆塗装が必要な状態である。
北方グラウンド	フェンスに腐食が多くみられる。
白岩競技場	スタンド観客席にはクラック多数あり、屋根支柱及び照明支柱に腐食がみられ強度に不安がある。
山内中央公園グラウンド	観客席及び東側法面コンクリート部分等にクラックが多く発生している。
北方運動公園運動場	バックネット、外周フェンス及びスコアボードなどに腐食が見られる。
白岩運動広場	ベンチ椅子の劣化がみられる。
北方東運動場	外周フェンスの一部に腐食が見受けられる。
天神崎公園テニスコート	全体的に人工芝の消耗が進んでいる。
山内中央公園テニスコート	全体的に人工芝の消耗が進んでいる。
山内中央公園軟式テニスコート	倉庫の老朽化が進んでいる。
北方運動公園テニスコート	フェンス支柱の腐食が進んでいる。一部表面劣化により使用できない。
山内中央公園プール	ろ過機は老朽化が進み、幼児プールには漏水が発生している。外周フェンスは、老朽化により倒壊のおそれがある。
北方運動公園プール	浄化槽への配管が破損しており仮設トイレの設置により対応している。

北方東プール	県道拡幅に伴い廃止済である。
白岩弓道場	現在のところ安全面などに問題はない。
山内中央公園弓道場	現在のところ安全面などに問題はない。
白岩相撲場	老朽化が進んでいる。
北方運動公園相撲場	排水ができず、土俵周りは長い間ぬかるんだ状態となり、屋根や柱の老朽化が進んでいる。
白岩ゲートボール場	現在のところ安全面などに問題はない。
白岩軽運動場	現在のところ安全面などに問題はない。
山内多目的スポーツ広場	現在のところ安全面などに問題はない。
サンスポーツランド北方ゲートボール場	コート面に傾斜がありボールが静止しない状態である。
眉山キャンプ場	ロッジ、バンガローなど老朽化により屋根、壁ともに補修・塗装が必要な状態である。
神六山公園ふれあい広場 キャンプ場	現在のところ安全面などに問題はない。
乳待坊公園いこいの広場 キャンプ場	設置場所の湿度が高いことなどから、工作物の腐食が激しい。

5 対策の優先順位の考え方

施設の老朽度、劣化・損傷の状況や耐震化・バリアフリー化の実施状況など個別施設の状態や、利用状況、類似施設の状況、地域バランスなどの施設を取り巻く社会的環境などを考慮して、施設量の最適化を判断するとともに、市民生活に必要不可欠な施設等については、安全確保と耐震化を優先し、可能な限り長時間使用するための対策を講じるものとする。また、学校教育等、他の分野での利用状況も考慮し方向性を定めるものとする。

6 施設の評価及び方向性について

(1) 施設の評価

各施設については、次の評価指標により性能度と活用度を評価し、「維持」「利用方法見直」「修繕・更新」「廃止」に評価分類する。

■施設の評価指標

項目	評価対象項目
性能度	・耐震基準への適合 ・バリアフリーへの対応 ・面積当たりのランニングコスト ・避難所としての利用

活用度	・類似施設の有無 ・施設の利用度 ・利用者当たりのランニングコスト ・各種大会での活用度
-----	---

■施設の評価内容

評価分類	内容
①維持	性能は高く、よく活用されている施設は現状のまま維持管理とするが、長期間かつ十分に活用してもらうために、定期的なメンテナンス等を行う。
②利用方法見直	性能は高いが、あまり活用されていないため利用度を高める必要がある施設であり、利用者を増加させるための工夫を検討や統廃合により利用者を集約、又は民営化、PFI などの検討も必要を行う。
③修繕・更新	活用されているが、老朽化や耐震力不足など施設の性能が低いので修繕や更新をすべき施設であり、更新の場合は、そのまま更新ではなく統廃合の検討を行う。
④廃止	性能は低く、あまり活用されていないので基本的には廃止をすべき施設であり、廃止や統廃合による廃止を行う。

(2) 施設の方向性について

1. 施設の方向性は、次の基本方針及び実施方針によるものとする。

基本方針	実施方針	考え方
施設量最適化	統廃合、集約複合化、機能移転、民営化、利用方法見直し	今後の人口減少及び需要の変化や財政見込みにより施設量の縮減を目指します。
長寿命化等	長寿命化、維持修繕	機能的に必要と判断されるため、可能な限り長期間使用するための措置を講じます。
安全確保	耐震改修、除却処分、更新	安全性の確保を優先するための対策を講じます。

7 スポーツ施設の評価

分類別の各施設評価及び現況等は次のとおりとなった。

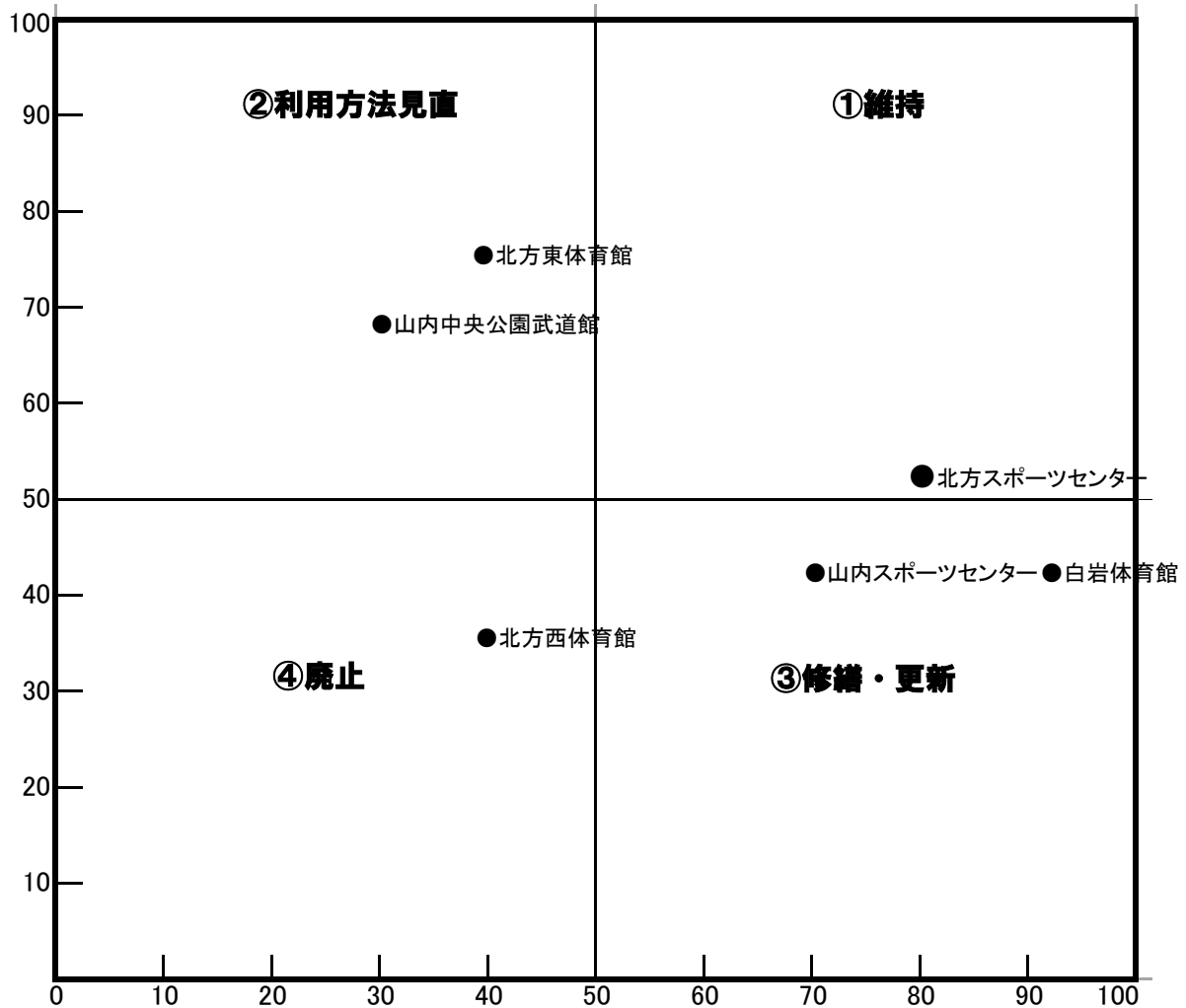
2018 年基準

種類	施設名	建設 年度	経過 年数 2018	①		面 積		経 費		利 用 者		④		⑤		⑥		性 能									活 用					
				耐用年数		(㎡)		(円)		(人)		(円)		(円)		(回)																
				耐用 年数	耐用残 年数	建物	その他	H29	平均	H29	平均	H29	平均	H29	平均	H29	平均	H29	平均													
体 育 館	白岩体育館 S50	1975	43	47	4	3,102		7,113,864	2,301,295	21,472	7,506	2,294	1,381	331	342	25	12		20	60	60	20	60	44	100	100	60	100	90			
	山内中央公園スポーツセンター S54	1979	39	47	8	1,428		2,952,676		8,472		2,068		349		18			20	60	60	20	60	44	60	60	60	100	70			
	北方スポーツセンター S53	1978	40	47	7	1,396		2,010,447		10,434		1,440		193		21			20	60	60	60	60	52	60	60	100	100	80			
	北方西体育館 S39	1964	54	47	▲ 7	654		137,184		1,836		210		75		4			20	20	20	100	20	36	20	20	100	20	40			
	北方東体育館 S61	1986	32	47	15	629		569,286		1,212		906		470		3			100	60	60	60	100	76	100	20	20	20	40			
	山内中央公園武道館 H 7	1995	23	34	11	749		1,024,313		1,612		1,367		635		0			100	60	60	60	60	68	60	20	20	20	30			
野 球 場	白岩球場 S51	1976	42	30	▲ 12		18,900	351,946	1,472,562	1,799	2,274	19	109	196	418	9	9		20	20	20	100	－	40	20	60	100	100	70			
	サンスポーツランド 北方多目的運動広場(野球場) H2	1990	28	30	2		13,211	4,065,739		3,839		308		1,059		10			20	60	20	20	－	30	60	100	20	100	70			
	北方グラウンド S50	1975	43	30	▲ 13		7,902	0		1,184		0		0		7			－	20	60	100	－	60	20	20	100	20	40			
運 動 場	白岩競技場 S51	1976	42	30	▲ 12		23,300	2,950,202	1,068,753	5,905	6,154	127	60	500	204	20	18		20	20	100	20	100	52	100	60	20	100	70			
	山内中央公園グラウンド S45	1970	48	30	▲ 18		17,832	1,081,911		9,734		61		111		39			－	20	100	60	60	60	60	60	100	60	100	80		
	北方運動公園運動場 S52	1977	41	30	▲ 11		11,488	328,857		12,443		29		26		24			－	20	100	100	60	70	60	100	100	100	90			
	白岩運動広場 H11	1999	19	30	11		12,000	982,793		2,576		82		382		4			－	60	60	60	60	60	60	20	60	60	50			
	北方東運動場 S61	1986	32	30	▲ 2		9,580	0		110		0		0		4			－	20	60	100	60	60	60	20	20	100	60	50		
テ ニ ス コ ー ト	天神崎テニスコート H10	1998	20	10	▲ 10		5,000	1,012,408	620,387	14,477	6,116	202	172	70	164	11	3		－	20	60	60	－	46.667	60	100	100	100	90			
	山内中央公園テニスコート H4	1992	26	10	▲ 16		3,206	1,373,848		8,804		429		156		1			－	20	60	20	－	33.333	60	100	60	20	60			
	山内中央公園軟式テニスコート S45	1970	48	30	▲ 18		1,205	55,834		1,080		46		52		0			－	20	20	100	－	46.667	60	20	100	20	50			
	北方運動公園テニスコート S50	1975	43	30	▲ 13		4,147	39,459		104		10		379		0			－	20	20	100	－	46.667	60	20	20	20	30			
プ ー ル	山内中央公園プール S49	1974	44	30	▲ 14		4,386	3,344,718	1,988,124	9,891	4,218	763	477	338	429	－	－		－	20	20	20	－	20	60	100	60	－	73.333			
	北方運動公園プール S59	1984	34	30	▲ 4		3,928	2,619,655		2,763		667		948		－			－	20	20	20	－	20	60	20	20	－	33.333			
	北方東プール S39	1964	54	30	▲ 24		470	0		0		0		0		－			－	20	20	100	－	46.667	20	20	100	－	46.667			
弓 道 場	白岩弓道場 H11	1999	19	34	15	211		63,575	138,576	966	660	301	942	66	335	－	－		100	60	20	100	60	68	60	100	100		86.667			
	山内中央公園弓道場 H13	2001	17	34	17	135		213,577		353		1,582		605		－			100	100	20	20	60	60	60	20	20		33.333			
相 撲 場	白岩相撲場 S55	1980	38	30	▲ 8		1,307	63,575	48,248	364	1,163	49	65	175	96	2	1		60	20	20	60	－	40	100	20	20	100	60			
	北方運動公園相撲場 S52	1977	41	15	▲ 26		400	32,921		1,962		82		17		0			20	20	20	60	－	30	20	100	100	20		60		
ゲ ー ト ボ ー ル 場	白岩ゲートボール場 H12	2000	18	30	12		2,000	77,191	140,073	6,500	3,979	39	31	12	25	－	－		－	60	20	60	60	50	60	100	100	－	86.667			
	白岩軽運動場 H11	1999	19	30	11		1,500	67,351		3,000		45		22		－			－	60	20	20	60	40	60	60	60	－	60			
	山内多目的スポーツ広場 H14	2002	16	30	14		9,953	415,748		6,414		42		65		－			－	60	20	20	60	40	60	100	20	－	60			
	サンスポーツランド北方 ゲートボール場 H2	1990	28	30	2		700	0		0		0		0		－			－	60	20	100	60	60	20	20	100	－	46.667			
キャン プ 場	眉山キャンプ場 H元	1989	29	30	1			713,902	237,967	58	303	－	－	12,309	4,103	－	－		100	60	20	100	60	68	60	20	20		33.333			
	神六山公園ふれあい広場キャンプ場 S57	1982	36	30	▲ 6			0		0		－		0		－			100	20	20	100	60	60	20	20	100		46.667			
	乳待坊公園いこいの広場キャンプ場 H元	1989	29	30	1			0		852		－		0		－			100	60	20	100	60	68	20	100	100		73.333			

点数	耐震基準 への適合 (屋外)健全度	① 老朽化の状況	バリアフ リーへの 対応	④ 1㎡当たり のコスト	避難所機能	性能度 評価	類似施設 状況	③ 施設利用度	⑤ 利用者一 人当たり のコスト	⑥ 各種大会 利用度	活用度 評価
100	適合	問題なし(耐用年 数の期間の1/2未 満)	対応	安い	重要	5項目 平均点	なし	多い	安い	重要	活用度 評価
60	対策中また は対策予定	対策が必要(耐用 年数の期間内で 1/2以上)	一部対応	普通	利用できる	5項目 平均点	一部の機 能あり	普通	普通	普通	4項目 平均点
20	対策が必要	老朽化が進行(耐 用年数を過ぎてい る)	未対応	高い	利用できない	5項目 平均点	あり	少ない	高い	低い	活用度 評価

(1) 体育館

性能度



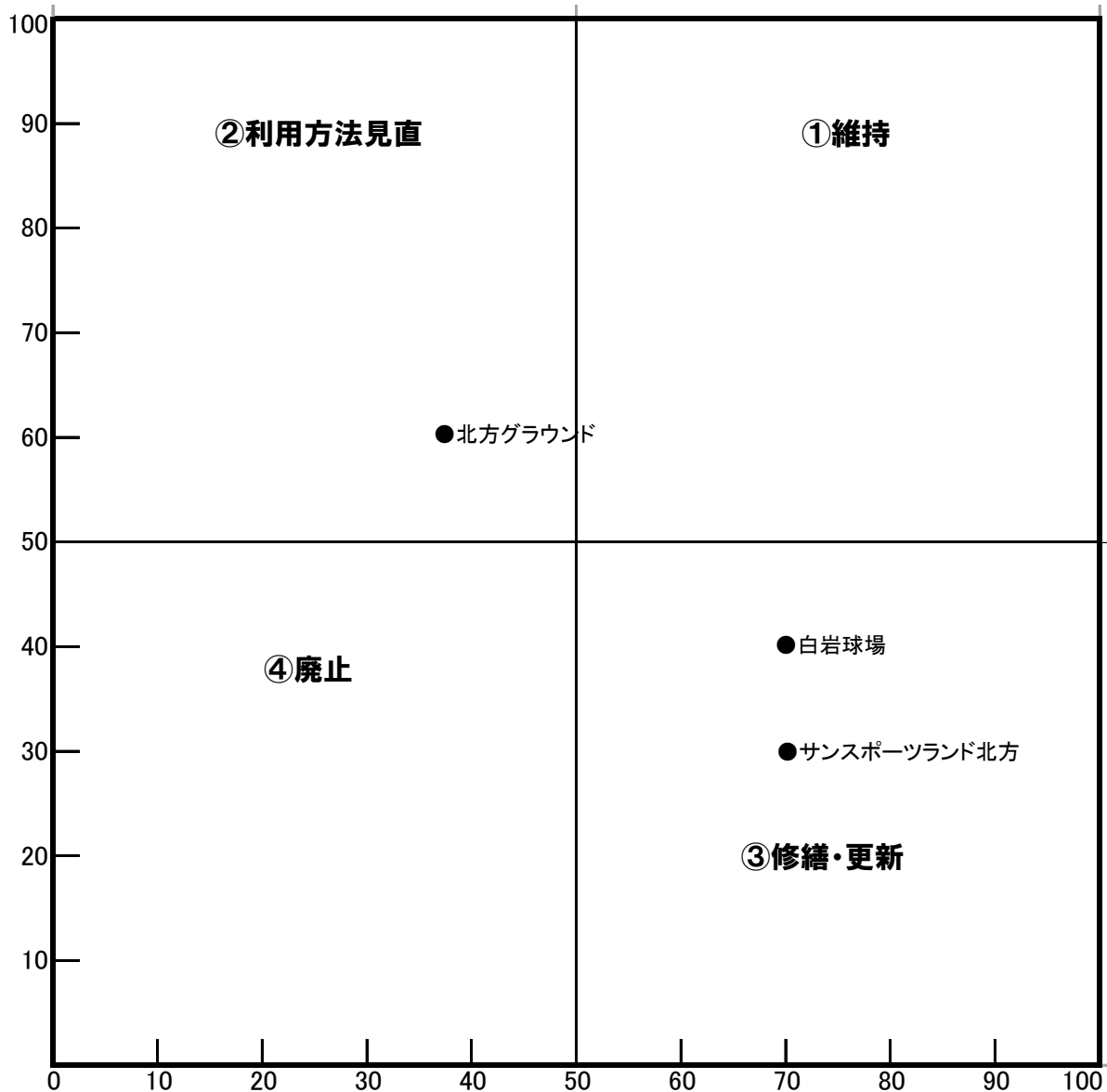
活用度

施設名	現況	環境に関する情報
白岩体育館	昭和50年建設で非耐震。外壁、内壁にはクラック多数。障害者スポーツ種目での使用も想定されておらず、電動車いすではトイレを利用できないなどバリアフリー対応は万全ではない。老朽化に伴い維持管理費も増加の傾向。	体育館では最も利用者が多い。各種競技団体の利用のほか九州大会レベルの実績あり。大規模な大会を開催できるのは当施設のみ。市の主催行事にも利用されている。代替施設はない。非耐震構造のため、避難所等防災拠点の指定はない。
山内中央公園スポーツセンター	昭和54年建設で非耐震。身障者用トイレ設置などほぼバリアフリー対応。老朽化に伴い維持管理費も増加の傾向。	日常の各種競技団体の練習のほか地域スポーツ行事、大会に利用されている。山内町には本施設のほか小学校2、分校2、中学校1、武道館1の計7つの体育館がある。非耐震構造のため、避難所等防災拠点の指定はない。
北方スポーツセンター	昭和53年建設、非耐震。バリアフリー対応については、電動車いすで身障者用トイレを利用できないなど万全ではない。老朽化に伴い維持管理費も増加の傾向。とくに雨漏りがひどく、解消のためには抜本的な改修が必要。	日常の各種競技団体の練習のほか地域スポーツ行事、大会に利用されている。北方町には本施設のほか小学校1、中学校1、社会体育館2(うち1つは廃止予定)の計5つの体育館がある。非耐震構造のため、避難所等防災拠点の指定はない。
北方西体育館	昭和39年建設で非耐震。バリアフリーには全く対応していない。老朽化著しく、雨漏り、床板の剥離が生じている(危険な範囲は使用禁止)。簡素な構造のうえに利用も少なく、修繕もしていないため維持経費は少ない。	中学校剣道部、少年空手、ミニバレーで週4日程度の利用。北方町には本施設のほか小学校1、中学校1、社会体育館2の計6つの体育館がある。非耐震構造のため、避難所等防災拠点の指定はない。
北方東体育館	昭和61年建設で耐震基準を満たす。スロープ、身障者用トイレ設置などほぼバリアフリー対応。施設正面壁面に劣化腐食が見受けられるが、現在のところ安全面などに問題はない。	フットサル週3日とバスケットボール週1日の週4日等の利用があり、いずれも夜間の利用(町外の団体のみ)。地元利用はほとんどない。北方町には本施設のほか小学校1、中学校1、社会体育館2(うち1つは廃止予定)の計5つの体育館がある。避難所指定。
山内中央公園武道館	平成7年建設で耐震基準を満たす。スロープはあるが身障者用トイレはない。現在のところ安全面などに問題はない。	武道館の利用は剣道、バドミントンなどの利用。バドミントンでの利用が最も多い。山内町には本施設のほか小学校2、分校2、中学校1、社会体育館1の計7つの体育館がある。周辺に公共施設があるため、避難所の指定はない。

評価分布

(2) 野球場

性能度



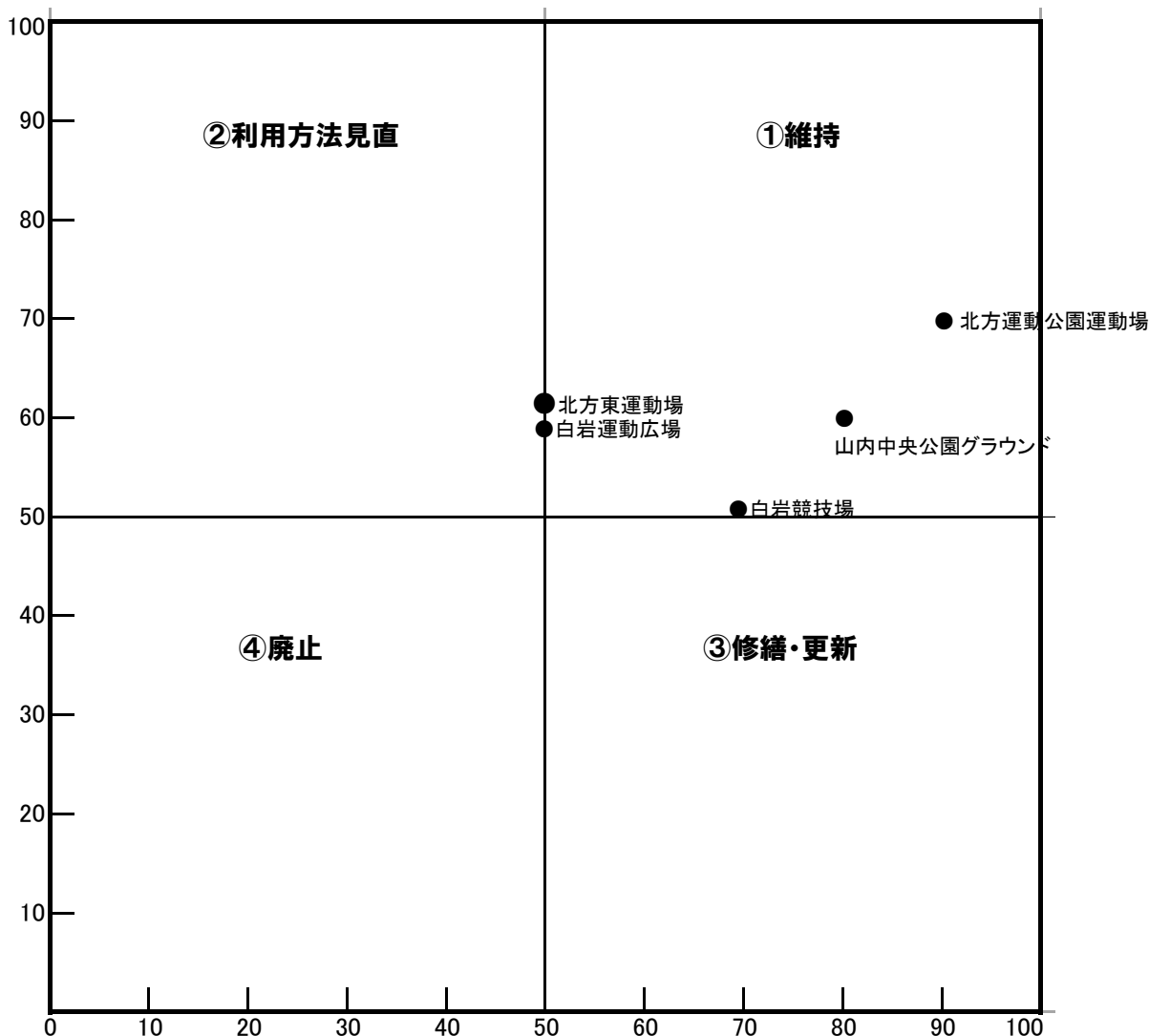
活用度

施設名	現況	環境に関する情報
白岩球場	昭和51年建設。グラウンド内はベンチ前や側溝蓋への緩衝材設置が必要な状況ではあるが、フィールドに問題はない。スタンドについては、コンクリート壁に剥がれ、観客席に割れが多数ある。車イス利用への配慮は全くない。	少年野球から喜寿野球大会まで幅広い利用がある。県大会等の利用実績あり。ナイター設備がないため、平日の利用が少ない。硬式野球練習で使用したいとの要望が増えている。
サンスポーツランド北方 多目的運動広場	平成2年建設。フィールドは未改修のため劣化、固形化がみられるなど改修が必要な状態。またバックスクリーン、スコアボードについても防錆塗装が必要な状態。スロープ、身障者用トイレ設置などほぼバリアフリー対応となっている。	土日の利用は大会以外では地元チームの練習がほとんど。平日の利用は少ない。※ナイターは周辺住民との約束により6月は使用できない。
北方グラウンド	昭和50年建設。フェンスに腐食が多くみられる。	地元老人会が週1回グラウンドゴルフで使用。硬式少年野球が週2、3回練習で使用。このほか軟式少年野球、各種団体のグラウンドゴルフ大会などで月2〜3回使用されている。

評価分布

(3) 運動場

性能度



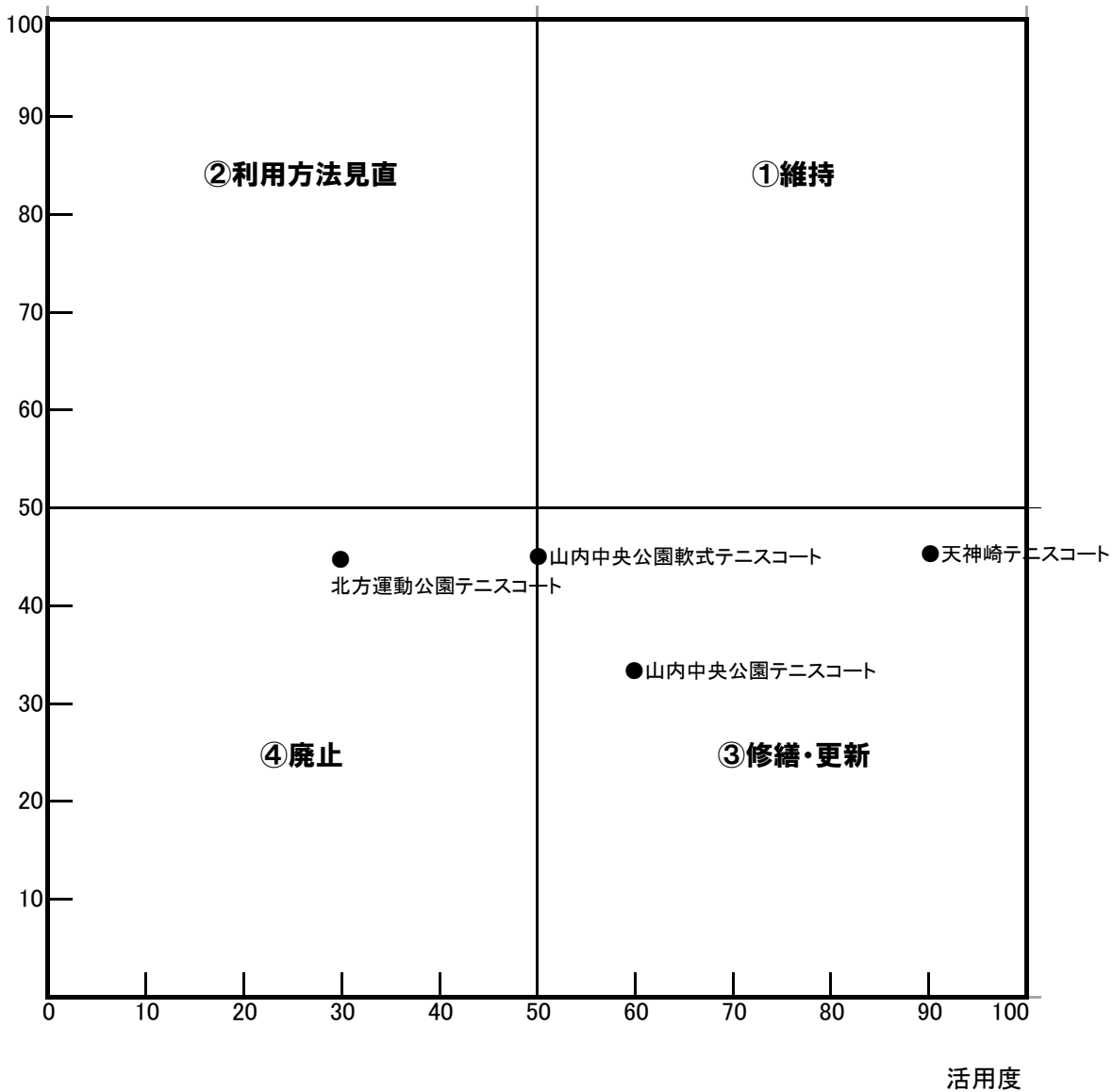
活用度

施設名	現況	環境に関する情報
白岩競技場	昭和51年建設。スタンド観客席にはクラック多数。屋根支柱及び照明支柱に腐食がみられ強度に不安がある。グラウンドの芝生は部分的に傷みによる段差が生じている。	陸上、サッカー、ラグビー、ソフトボールの練習や大会、グラウンドゴルフ大会、町や地区の運動会に1年通して使用されている。また、ジョギングなど健康づくりの場としても多くの市民に利用されている。代替施設はない。
山内中央公園グラウンド	昭和45年建設、平成28年改修。観客席及び東側法面コンクリート部分等にクラックが多く発生している。	各種競技団体の練習、大会のほか地域スポーツ行事、大会に利用されている。山内町には本施設のほか小・中学校にも運動場があるが、同等の面積を備えるところがない。
北方運動公園運動場	昭和52年建設。バックネット、外周フェンス及びスコアボードなどに腐食が見られる。音響設備に不具合あり。照明設備がないため、維持管理経費が安い。	平日は主にグラウンドゴルフ、ゲートボール、土日は地域スポーツ行事、少年スポーツの大会等々に使用されている。北方町には本施設のほか小・中学校運動場、サンスポーツランド北方、北方グラウンド、北方東運動場があり、特に中学校は同等以上の面積を備える。
白岩運動広場	平成11年全面改修。ベンチ椅子の劣化がみうけられる。	ソフトボール、少年野球の練習、大会に使用されている。照明の使用は週1～2回。
北方東運動場	昭和61年建設。グラウンド自体の安全面など特に問題はないが、外周フェンスの一部に腐食が見受けられる。	橋下各地区のグラウンドゴルフ大会、練習などでの利用のほか地区外スポーツクラブがソフトボール、サッカーなどで利用。

評価分布

(4) テニスコート

性能度

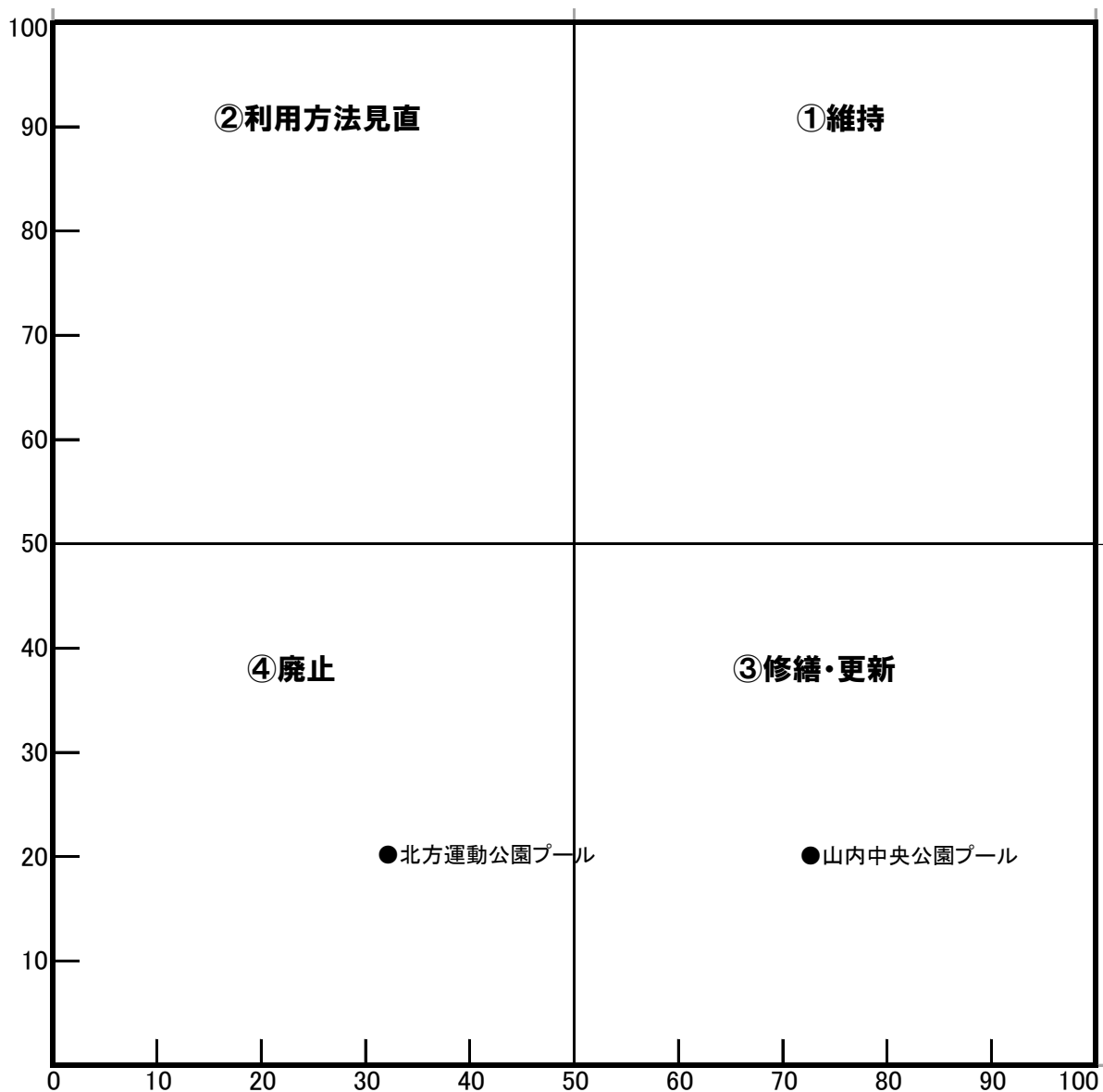


施設名	現況	環境に関する情報
天神崎公園 テニスコート	人工芝コート5面。平成9年全面改修、平成25年一部人工芝張替。全体的に人工芝の消耗が進んでいる。管理人棟がなく、仮設コンテナで対応している。駐車場が不足し、利用者は路上駐車せざるをえず、迷惑駐車への苦情が寄せられることもある。身障者用トイレはない。	平日は午前中3日(1面)、13-17時1日(1面)定期で利用あり。16-19時は武雄中、武雄高の部活動で利用されている。19-21時はほぼ全面一般利用。土日9-18時は部活動や大会、一般利用でほぼ全面利用されており、19-21時も土曜は全面、日曜は2、3面の利用はある。
山内中央公園 テニスコート	人工芝コート4面。平成4年建設。部分補修で対応してきたため凹凸多数。段差で足を取られるなど危険な状況である。面全体の人工芝張替が必要な状況。管理人棟入口にスロープの設置はあるがコートへアクセスできず、身障者用トイレもない。	平日は午前中2日(2、3面)定期利用、13-17時についても週2、3日は個人利用がある。。16-19時は山内中や有田工の部活動で利用されている。19-21時はほぼ全面一般利用。土日9-12時は部活動、13-22時は一般利用でほぼ全面利用(日曜の夜間の利用はほとんどない)。大会は中体連ほか数回。市外利用者が多数。
山内中央公園 軟式テニスコート	土コート2面。昭和45年建設。倉庫の老朽化が進んでいる。	山内町ソフトテニスクラブが毎日使用。これ以外はほとんど利用がない。草刈やラインコート補修などの維持管理は同クラブが行っている。
北方運動公園 テニスコート	土コート4面。昭和50年建設。4面のうち2面は表面劣化により使用できない。フェンス支柱の腐食が進んでいる。	ほとんどが北方中の部活での利用となっている。

評価分布

(5) プール

性能度



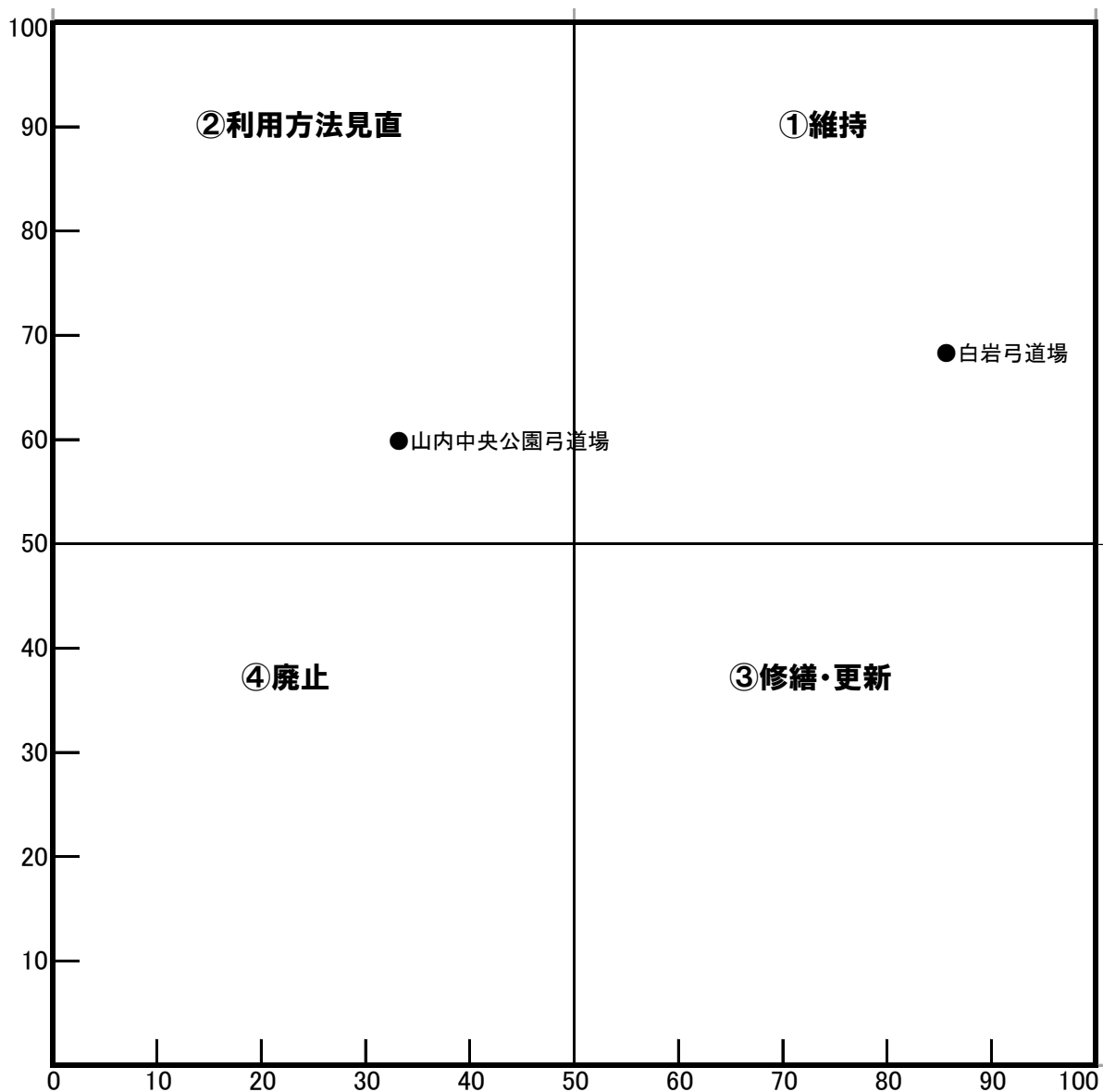
活用度

施設名	現況	環境に関する情報
山内中央公園プール	昭和49年建設。ろ過機は老朽化が進んでおり、幼児プールには漏水が発生している。外周フェンスの老朽化により倒壊のおそれがある。開館期間は6月15日～9月15日の3ヶ月。	平成29年度の利用者数は9891人。中学校体育でも利用されている。
北方運動公園プール	昭和59年建設。老朽化により毎年ろ過機の部品交換が続いているが、安全に運営できている。浄化槽への配管の破損により、期間中は仮設トイレを設置し対応している。開館期間は6月15日～9月15日の3ヶ月。	平成29年度の利用者数は2,763人。中学校体育でも利用されている。
北方東プール	昭和39年、学校用プールとして建設。	県道拡幅に伴い廃止済。

評価分布

(6) 弓道場

性能度



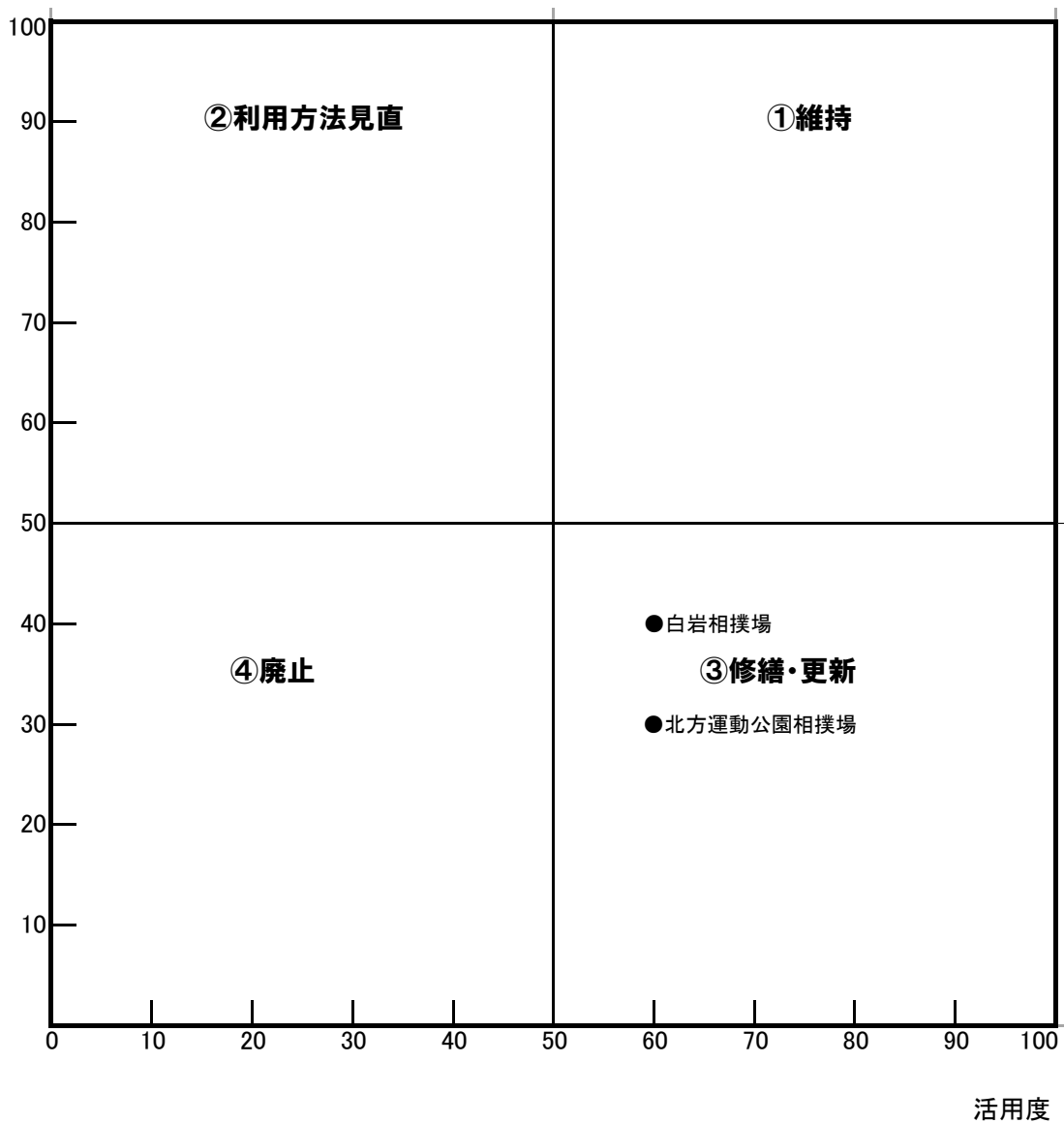
活用度

施設名	現況	環境に関する情報
白岩弓道場	平成11年建設。特に施設に問題はない。バリアフリー未対応。近的(28m)、遠的(60m)を備える。	中高生の部活使用や市弓道連盟などが主に利用している。年間利用は966名。
山内中央公園弓道場	平成13年建設。平成28年トイレ新設。特に施設に問題はない。バリアフリー未対応。近的のみ。	平成29年度の使用は山内町弓道クラブ員が主に利用している。年間利用は353名。

評価分布

(7) 相撲場

性能度

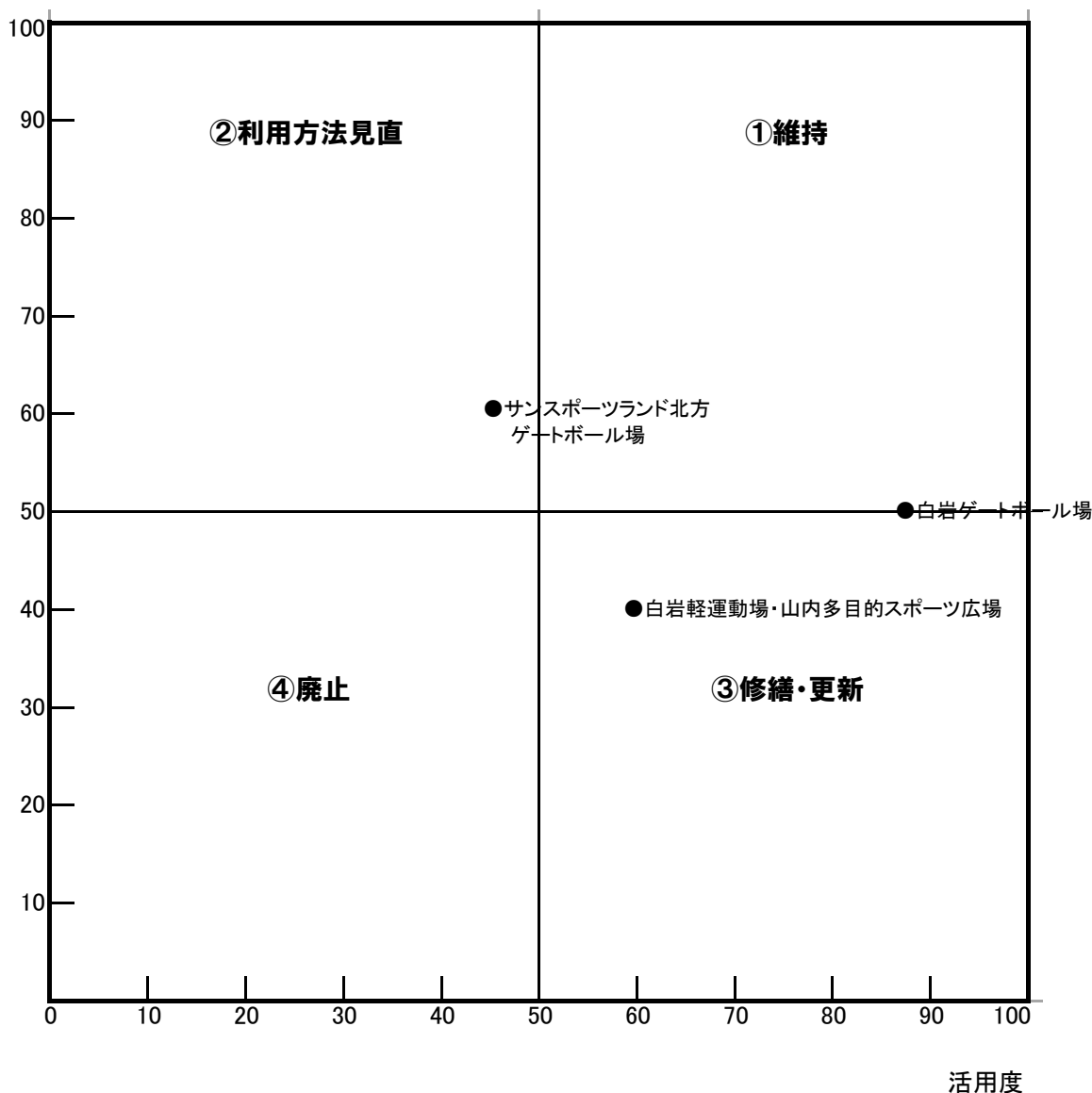


施設名	現況	環境に関する情報
白岩相撲場	昭和55年建設。老朽化は見られる。	年間通して利用は少なく、武雄町子ども相撲大会、市民体育大会、県体練習(10日間)程度。
北方運動公園相撲場	昭和52年建設。排水ができず、土俵周りは長い間ぬかるんだ状態となる。屋根や柱の老朽化が進んでいる。	北方少年相撲クラブが週3回の練習、他クラブの出稽古にも使用されている。大会の開催実績はない。選手育成に熱心に取り組まれており、毎年全国大会にも出場している。

評価分布

(8) ゲートボール場

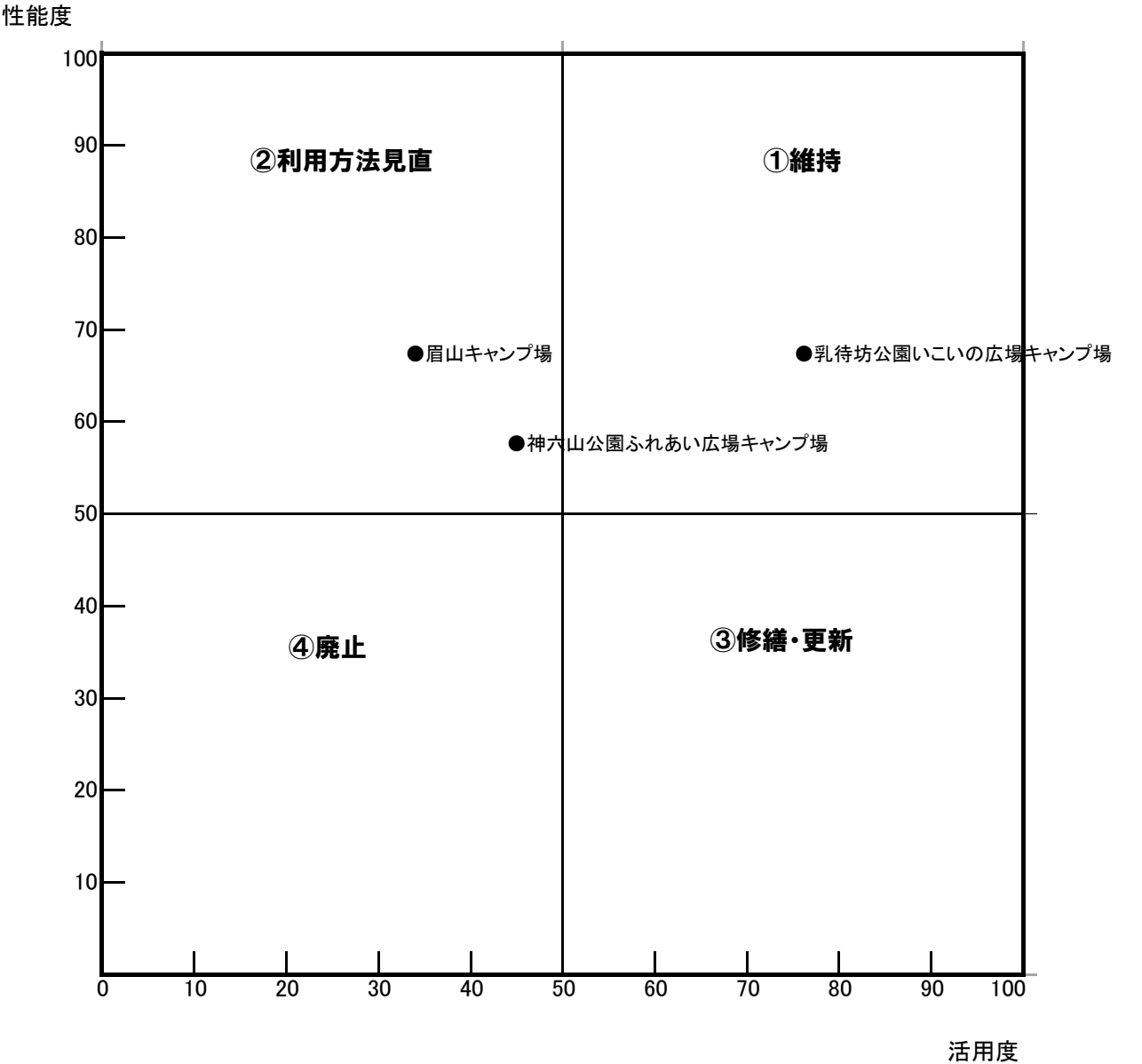
性能度



施設名	現況	環境に関する情報
白岩ゲートボール場	平成12年設置。平成22年にコート2面増設し6面となる。管理棟はプレハブ、トイレは仮設。現在のところとくに安全面に問題はない。	月1回の練習、月3回の大会に利用されている。
白岩軽運動場	平成11年設置。簡易夜間照明を2灯備えるが、現在のところ施設、付帯設備に問題はない。	グラウンドゴルフに利用されるなど、市民の健康づくりの場として活用されている。
山内多目的スポーツ広場	平成14年設置。コート8面、管理棟(鉄骨平屋建)。現在のところとくに安全面に問題はない。	コート8面を備え、大会等も開催される。最大の大会は160人の参加がある。
サンスポーツランド北方ゲートボール場	平成2年設置、人工芝コート2面。コート面に傾斜がありボールが静止しないなど問題がある。	ゲートボール場としての利用はなく、駐車場として利用されている。

評価分布

(9) キャンプ場



施設名	現況	環境に関する情報
眉山キャンプ場	昭和49年に設置。平成元年にロッジ、平成5年に炊事施設、平成6年にバンガローを建設。ロッジ、バンガロー5棟、老朽化により屋根、壁ともに補修・塗装が必要な状態である。独自の給水設備を有しており、自然水(雨水)を利用しているため、安定的な供給、水質保全に注意を要する。	キャンプ場へのアクセス道路の状態も悪く、地元から改善の要望が出されている。管理運営を菅牟田区へ委託し、同施設の利活用についても熱心に取り組んでいただいている。
神六山公園ふれあい広場キャンプ場	昭和57年に公園施設の一部として設置、当初は利用者も多かったが、関連施設の撤去などで利用者が激減した。現在は常設テントは無く、テント架台または公園内に貸出テントを立てて利用する形態に変化している。	公園利用者年間で2,3件程度であり、キャンプ場のテント貸出としての利用は、合併以来されていないのが現状である。テント架台は基礎が耐久性通気性に優れており、中期間改修の必要性なし。
乳待坊公園いこいの広場キャンプ場	平成元年に公園施設の一部として設置、当初は利用者も多かったが、近年のキャンプ形態の変化に対応できず、また施設の老朽化あり利用者は減少傾向にある。設置場所の湿度が高いことなどから、腐食が激しく定期的に補修を行わなくてはならない。	平成28年度の公園利用者は1,765名。テント持込(無料)の宿泊利用者は663名であり、テント施設の利用は86名(4.9%)、うち有料利用者は24名(1.4%)あった。

8 スポーツ施設の方向性について（対策内容と実施時期）

スポーツ施設の今後の方向性については、施設自体の状態や活用状況、地域バランスなど施設を取り巻く社会的環境、安全確保などを考慮して別表のとおりとする。

	施設名	構造	面積(m2)		設置年	耐用年数	更新期	残年数		利用者等	維持費	収入	方向性		内 容	実施時期 前期=～33年度(2021年) 後期=～38年度(2026年)
			建物	その他				H33年度	H38年度				基本方針	実施方針		
体 育 館	白岩体育館	RC造	3,102		1975	47	2022	1	▲ 4	21,472	7,114	3,138	施設量最適化	統廃合	施設の老朽化に伴い北方西体育館と集約を行い、新体育館を建設する。	前期
	山内中央公園スポーツセンター	RC造	1,428		1979	47	2026	5	0	8,472	2,953	295	長寿命化等	長寿命化	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。次期計画においては学校施設との融合を検討する。	後期
	北方スポーツセンター	RC造	1,396		1978	47	2025	4	▲ 1	10,434	2,010	868	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。次期計画においては学校施設との融合を検討する。	後期
	北方西体育館	RC造	654		1964	47	2011	▲ 10	▲ 15	1,836	137	108	施設量最適化	廃止	除去処分し、白岩体育館と集約化を行う。	前期
	北方東体育館	RC造	629		1986	47	2033	12	7	1,212	569	254	施設量最適化	利用管理方法見直し	北方西体育館の機能の一部を担い、今後、適切な維持管理を行い存続する。	次期計画以降
	山内中央公園武道館	S造	749.4		1995	34	2029	8	3	1,612	1,024	79	施設量最適化	利用管理方法見直し	利活用の方法を見直す必要がある。	次期計画以降
野 球 場	白岩球場	－		12,900	1976	30	2006	▲ 15	▲ 20	1,799	352	249	施設量最適化	統廃合	夜間照明、ファウルボール対策が整った新球場を北方グラウンドと集約化を行い別の場所に新設する。	前期
	サンスポーツランド北方多目的運動広場	－		12,983	1990	30	2020	▲ 1	▲ 6	3,839	4,066	153	長寿命化等	長寿命化	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。ナイター設備については利用停止を行い、ナイター利用者については新球場にて対応する。	前期
	北方グラウンド	－		7,902	1975	30	2005	▲ 16	▲ 21	1,184	0	0	施設量最適化	廃止	除去処分し、白岩球場と集約化を行う。	前期
運 動 場	白岩競技場	－		23,300	1976	30	2006	▲ 15	▲ 20	5,905	2,950	658	長寿命化等	長寿命化	客席屋根やスタンド部分など耐震性を求められる部分の改修を行い施設の長寿命化を図る。	後期
	山内中央公園グラウンド	－		17,832	1970	30	2000	▲ 21	▲ 26	9,734	1,082	579	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。	後期
	北方運動公園運動場	－		11,488	1977	30	2007	▲ 14	▲ 19	12,443	329	0	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。	後期

	施設名	構造	面積 (㎡)		設置年	耐用年数	更新期	残年数		利用者等	維持費	収入	方向性		内 容	実施時期 前期=～33年度(2021年) 後期=～38年度(2026年)
			建物	その他				H33年度	H38年度				基本方針	実施方針		
	白岩運動広場	－		12,000	1999	30	2029	8	3	2,576	983	287	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。	次期計画以降
	北方東運動場	－		9,580	1986	30	2016	▲ 5	▲ 10	110	0	0	施設量最適化	利用管理方法見直し	施設利用者の増加となるよう検討を図ってゆく。	後期
テニスコート	天神崎公園テニスコート	－		5,000	1998	10	2008	▲ 13	▲ 18	14,477	1,012	2,348	長寿命化等	改修	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。将来的には山内中央公園テニスコートへの集約化を検討する。	前期
	山内中央公園テニスコート	－		3,206	1992	10	2002	▲ 19	▲ 24	8,804	1,374	1,709	長寿命化等	改修	適切な維持管理を行い存続する。将来的には天神崎公園テニスコートとの集約化を検討する。	前期
	山内中央公園軟式テニスコート	－		1,205	1970	30	2000	▲ 21	▲ 26	1,080	56	0	施設量最適化	利用管理方法見直し(廃止)	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。将来的には山内中央公園テニスコートへ集約を行い廃止を行う。	前期
	北方運動公園テニスコート	－		4,147	1975	30	2005	▲ 16	▲ 21	104	39	12	施設量最適化	(一部)廃止	利用者数に合わせた規模に縮小する。	前期
プール	山内中央公園プール	－		4,386	1974	30	2004	▲ 17	▲ 22	9,891	3,345	657	長寿命化等	改修	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。利用期間を短縮し経費削減を検討する。また次期計画においては学校施設との融合を検討する。	前期
	北方運動公園プール	－		3,928	1984	30	2014	▲ 7	▲ 12	2,763	2,620	176	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。利用期間を短縮し経費削減を検討する。また次期計画においては学校施設との融合を検討する。	後期
	北方東プール	－		470	1964	30	1994	▲ 27	▲ 32	0	0	0	施設量最適化	廃止	県道拡幅に伴い廃止済。	前期
弓道場	白岩弓道場	S造	211		1999	34	2033	12	7	966	64	92	施設量最適化	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。山内弓道場との集約化を将来的に検討する。	次期計画以降
	山内中央公園弓道場	S造	135		2001	34	2035	14	9	353	214	31	施設量最適化	利用管理方法見直し	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。将来的には白岩弓道場への集約化を検討する。	次期計画以降
相撲場	白岩相撲場	S造	100		1980	30	2010	▲ 11	▲ 16	364	64	0	施設量最適化	廃止	北方運動公園相撲場との統合により廃止。運動広場等の駐車場として活用。	前期
	北方運動公園相撲場	木造	100		1977	15	1992	▲ 29	▲ 34	1,962	33	0	施設量最適化	統廃合	練習での活用は非常に多いがやぐらなどの経年劣化が激しいため廃止。白岩相撲場と統合し北方テニスコートの一部へ移転。	前期

	施設名	構造	面積 (㎡)		設置年	耐用年数	更新期	残年数		利用者等	維持費	収入	方向性		内 容	実施時期 前期=～33年度(2021年) 後期=～38年度(2026年)
			建物	その他				H33年度	H38年度				基本方針	実施方針		
ゲートボール場	白岩ゲートボール場	－		2,000	2000	30	2030	9	4	6,500	77	0	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。白岩運動公園の再配置計画に伴い白岩軽運動場との複合化も検討する。	次期計画以降
	白岩軽運動場 (白岩体育館横)	－		1,500	1999	30	2029	8	3	3,000	67	0	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。白岩運動公園の再配置計画に伴い白岩ゲートボール場との複合化も検討する。	次期計画以降
	山内多目的スポーツ広場	－		9,953	2002	30	2032	11	6	6,414	416	55	長寿命化等	維持修繕	適切な維持管理を行い存続する。	次期計画以降
	サンスポーツランド北方 ゲートボール場	－		700	1990	30	2020	▲ 1	▲ 6	0	0	0	施設量最適化	廃止	ゲートボール場としては廃止しサンスポーツランド北方多目的運動広場駐車場として利用。	前期
キャンプ場	眉山キャンプ場	－	0		1989	30	2019	▲ 2	▲ 7	58	714	5	施設量最適化	利用管理方法見直し	適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持。	後期
	神六山公園ふれあい広場 キャンプ場	－	0		1982	30	2012	▲ 9	▲ 14	0	0	0	施設量最適化	廃止	利用者が無く、代替施設も存在することから乳待坊公園キャンプ場に集約を行い、公園機能として存続する。	前期
	乳待坊公園いこいの広場 キャンプ場	－	0		1989	30	2019	▲ 2	▲ 7	852	0	5	長寿命化等	維持	神六山公園キャンプ場と集約を行い、適切な維持管理を行い、供用限界まで施設を維持する。	後期

9 対策費用

各スポーツ施設の方向性を次の算出単価などを参考に対策費用を講じるものとする。
なお長寿命化については更新費用の 6 割から 7 割程度とし、維持修繕費用については各施設の状態をもとに判断する。事業実施期間は、他の公共施設整備事業の実施を鑑み事業費の平準化を行い実施していくこととする。

■更新（建替え）参考単価 ※公共施設等更新費用試算ソフト

・スポーツレクリエーション施設系等施設	3 6 万円／㎡
・市民文化系、社会教育系、行政系等施設	4 0 万円／㎡
・学校教育系、子育て支援施設等	3 3 万円／㎡

10 武雄市スポーツ施設検討市民会議

今後のスポーツ施設の方向性について、武雄市スポーツ施設検討市民会議（委員 13 名により構成）を次のとおり開催し、方向性について広く意見をいただき、本計画の参考とした。また、長期的な考え方については今後の計画策定の参考としていく。

① 会議開催

- ・平成 31 年 2 月 18 日 武雄市公共施設総合管理計画説明
- ・平成 31 年 2 月 27 日 スポーツ施設の方向性について
- ・平成 31 年 3 月 7 日 市民会議意見項目別取りまとめ

② 計画に対する主な意見

- ・廃止施設については利用者への代替案をしっかりと説明して欲しい。
- ・野球場について統廃合は理解できるが、場所については、大きな大会の実施等を考えた場合は宿泊施設から近い市街地がいいのでは。また、市民、野球愛好者の利用からも真ん中がいいのではないかな。
- ・新野球場にはナイター設備が必要であるので、市街地では難しいのでは。
- ・野球場の建設を考えられているが、周辺の道路整備が必要ではないかな。
- ・陸上競技場とグラウンドは位置づけを分けて整理したほうがよいと考える。
- ・市内利用者が利用しにくい状況の施設もあるので利用方法について検討して欲しい。
- ・プールについては学校教育としての利用もあるかもしれないが、赤字が多く発生している状況のため廃止の方向性も視野にいれるべきでは。
- ・プールなど維持費がかかりすぎるのなら利用料を見直す必要があるのでは。
- ・グラウンド・ゴルフ人口が増加している傾向だと思われるが、新規の施設整備は想定されていないのか。
- ・白岩相撲場と北方相撲場の統廃合により、白岩相撲場で開催されている地域の

相撲大会の代替案も検討が必要だと思う。

- ・北方相撲場は、現在の場所は狭すぎることも検討すべきではないか。
- ・地域のスポーツを学校施設で行っている地域も多くあり、地域により社会体育施設に対する関心が異なると思う。
- ・後ろ向きな方針もあるが前向きな方針もあるので、今後も様々な意見を聞く場を作って欲しい。

1 1 計画のフォローアップについて

本計画の進捗確認のため、計画に基づく機能改修等の実施状況のほか、利用状況、維持管理コストの評価などを定期的に行うものとする。施設の安全性を確保するために耐震調査等を実施するとともに資産の状況を把握し、施設の機能が十分に発揮される状態を確保するために、法定点検の義務の無い施設についても同様の点検を行うものとする。

また、廃止する施設などは、利用者に対し代替案など他施設の有効利用について説明を行うものとする。